

# 福島市のデジタル化の取組について

---

# デジタル推進協議会とデジタル都市宣言

## ふくしまデジタル推進協議会 (2022.7.11設立)

- 行政、経済、教育、医療福祉、地域、高齢者、デジタル関係企業など各分野の代表参加(総勢25名)
- 市全体のデジタル化への方向性共有
- 全市的デジタル化と先導的プロジェクトの推進
- 各分野の推進者選任。トップのバックアップのもと各分野の取組推進



# デジタルで便利で豊かな新ステージへ

## ～ 福島市デジタル都市宣言 ～

(2022.11.30)

3

デジタル化は、コロナ禍を機に、新しい生活様式として急速に進展し、変革・成長の原動力としてその加速が強く求められています。

デジタルの活用は、一人ひとりのニーズにあった多様な選択を可能にするとともに、人手不足の解消、商品・サービスの開発・高度化、経営・財政の効率化に寄与します。

福島市は、市民共創で、高齢者にもやさしいデジタル化を推進し、市民生活と地域活動の全体にわたってデジタル化を浸透させていきます。そして、人とデジタルの融合のもとで、市民生活をより便利で快適に向上させるとともに、産業振興など地域の活性化を図り、持続的に発展する都市を形成していきます。

福島市は、次の3つの戦略に基づき、「デジタルで便利で豊かな新ステージ」を目指すことをここに宣言します。

### 【デジタル都市に向けた3つの戦略】

- 1 デジタルを活用した市民サービスの向上と行政の高度化・効率化
- 2 デジタルを活用した市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興
- 3 市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化

# デジタル都市に向けた3つの戦略

## 目指す姿

### デジタルで 便利で豊かな 新ステージ

○市民共創で、高齢者にもやさしいデジタル化を推進し、市民生活と地域活動の全体にわたってデジタル化を浸透させていきます。

○人とデジタルの融合のもとで、市民生活をより便利で快適に向上させるとともに、産業振興など地域の活性化を図り、持続的に発展する都市を形成していきます。

## 3つの戦略

1  
デジタルを活用した  
市民サービスの向上  
と行政の高度化・  
効率化

2  
デジタルを活用した  
市民生活を豊かにする  
まちづくりと産業振興

3  
市民共創で高齢者にも  
やさしいデジタル化

## 推進施策（14）

- (1) デジタルファーストのサービス向上
- (2) マイナンバーカードの普及促進と利活用
- (3) デジタル活用によるコミュニケーションの強化
- (4) 行政の高度化・効率化
- (5) 情報セキュリティの確保
- (6) 新たなコミュニティと共生社会の形成
- (7) 医療のデジタル化と健康づくり
- (8) 子育て支援、教育のデジタル化
- (9) デジタルを活用した賑わいの創出
- (10) デジタルを活用した農業や商業の振興
- (11) デジタル関連事業者の集積とこれを活かした産業活動の活性化
- (12) 市民総ぐるみのデジタル化
- (13) デジタル人材の育成・確保
- (14) 市民相互のサポート・学びあい

# 福島市内60歳以上のスマートフォン普及状況

## ○60歳以上のスマートフォン普及状況

	福島市			全国		
	60代	70代	80以上	60代	70代	80以上
令和元年度	54.9%	31.2%	-	64.7%	33.8%	11.0%
令和2年度	-	-	-	67.4%	38.3%	11.0%
令和3年度	-	-	-	79.3%	53.1%	19.2%
令和4年度	83.1%	61.4%	26.0%	-	-	-

<福島市> 令和元年度 「福島市の情報化に関するアンケート」より  
 令和4年度 「福島市のデジタル化に関するアンケート」より  
 <全国> 令和元年度～3年度「総務省実施 通信利用動向調査」より

○80歳以上の層はスマートフォンの所有率も低く、自由記載の意見においてもデジタル化に対して消極的意見が多く見られた。一方で、70代まではスマートフォンの所有率も高く、スマートフォン教室の開催やデジタルに関する相談窓口の設置を希望するなど、活用に対する意欲が高い。

# 市民相互のサポート・学び合い

## 1 スマートフォン利活用支援講座

- デジタル活用に不慣れな高齢者等に対し、携帯会社のスタッフが講師、**学生等がサポーター**となり、スマートフォンの便利さや楽しさを体験できる講座を実施
- 開催場所：各学習センター
- 開催時期：9月下旬～2月下旬
- 開催回数：**130回**
- 延べ受講者数：**988人**

### サポート体制図

《講師》

《 サポーター 》

携帯会社  
スタッフ



大学生等

シニアICT  
サポーター  
(昨年度受講生)

1人

5人

※受講生2人に対して、サポーター1人が支援



▲講座の様子

## 2 シニアICTサポーター育成講座

○地域の中で支援し合える仕組みとして、高齢者が困ったときに近くで相談できる「シニアICTサポーター」を育成する講座を開催

○開催場所：学習センター等

○開催時期：1月下旬～2月下旬

○開催回数：7回(2日間コース)

○延べ受講者数：65人

※現在、令和3年度に本講座を受講した5名の方が市主催のスマホ講座のサポーターとして活動(有償ボランティア)



▲シニアICTサポーター活動の様子

### 3 電子町内会（ICTを活用した町内活動支援）

○市からの回覧物等はメールで送付。  
また、町内会内部もメールやLINE等  
を活用して、スピーディーに情報発信。

○参加町内会：**31町会**  
※R3年度：25町会  
R2年度：4町会

#### 電子町内会ウェブサイトの構築（2022.11.30）

町内会の紹介やお知らせ、活動等を掲載

#### ▼ウェブサイトイメージ図



# 市民相互のサポート・学び合い

## 4 デジタルサポートデスク

2022.12月～設置

○デジタル相談窓口「ふくしまデジタルサポートデスク」設置  
デジタルに関することならどんなことでも気軽に相談可能。

開設場所	開設曜日	定員
市役所1階	・毎週月曜日 (2/27～拡充) ・毎週水曜日	1日5名 (予約優先制)
アオウゼ	・毎週金曜日	



▲相談の様子

○延べ利用者数：101名

※3/8現在

○年代

60代:39人(39%)  
70代:48人(47%)  
80代:14人(14%)

○性別

女性:67人(66%)  
男性:34人(34%)

○主な相談内容

- ・スマートフォンの基本操作
- ・LINEの使い方(友だち登録方法等)
- ・メールの返信や削除の仕方

# 行政の積極的デジタル化推進

## (1) 公共施設予約システム（2021年12月より）【東北初】

- スポーツ施設等36施設にキャッシュレス決済可能なシステムを導入
- オンライン予約利用率（2022.11月時点：45.7%）
- キャッシュレス決済利用率（2022.11月時点：37.5%）

## (2) 電子図書館の開設（2023.2.1～）利用実績 約2,400冊（2月末時点）

電子図書館の特徴 ～いつでも どこでも もっと便利に！～

### 年中無休

いつでも どこでも  
24時間 利用できます！

### 見やすさ◎

文字の大きさ変更可能  
読み上げてくれるものアリ

### 来館不要

期限が来たら、自動返却  
返し忘れなし

### 電子書籍コンテンツ数

約1万1千タイトル（青空文庫含む）

- ・小 説（大人や中高生が楽しめるもの） 1,200冊
- ・児 童 書（絵本や読みものなど） 500冊
- ・そ の 他（ビジネス書、育児書、語学などの実用書や  
趣味・教養など） 2,300冊
- ・青空文庫（名作文学など） 6,800冊

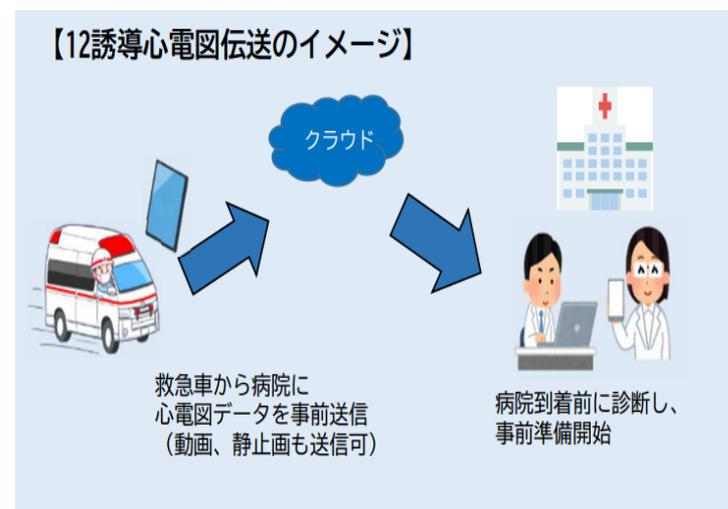


# 行政の積極的デジタル化推進

## (3) 12誘導心電図伝送システムによる救命率向上（2022）

○12誘導心電図とは  
心臓に流れる電流を12方向から詳細に記録できる心電図。

○効果  
救急隊が急性心筋梗塞を疑うと、  
12誘導心電図装置でデータを伝送し、  
病院到着前に医師が診断することで  
治療時間の短縮を図る。  
心筋梗塞の場合、治療までの時間を  
10分短縮できれば、死亡リスクが8%  
低減されると言われる。



○救急医療の強化  
救急車全10台で運用中。3月9日までに135件の送信事例があり、  
そのうち14件が急性心筋梗塞と診断。14件の中には、50代男性が  
4名含まれており、その患者には緊急手術等の治療がただちに行われ、  
良好な経過をたどるなど、高い効果を確認。

## (1) ポストコロナ対応デジタル化等支援（2023）

- デジタル化推進枠  
事業者が行うポストコロナに向けたデジタル化対応経費の一部を補助
- 新規創業枠  
創業1年未満の事業者等が行うポストコロナに向けたデジタル化対応経費等の一部を補助

## (2) 電動アシスト付きシェアサイクルの導入

- 登録者数：約6,400人

## (3) 学校教育のデジタル化

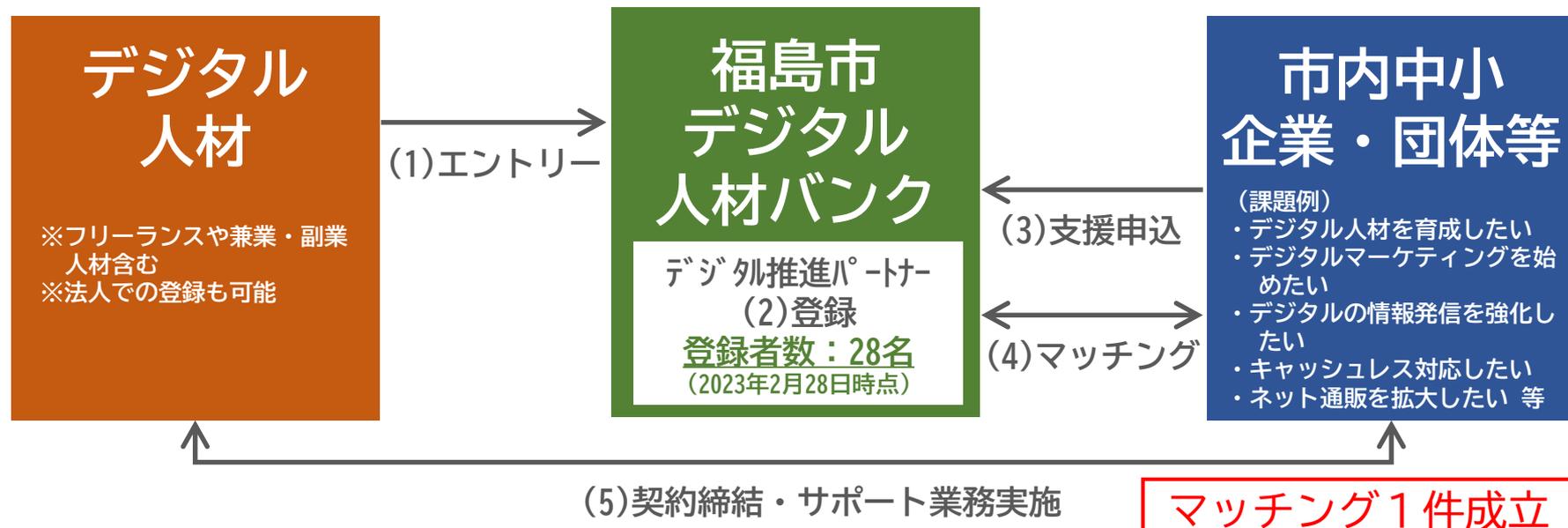
- 一人一台端末を活用した教育の積極的推進
- 家庭でのWi-Fi環境整備、オンライン授業の日（各学校月1回、全学校年1回）  
⇒ コロナ感染による学級閉鎖等でオンライン授業実施
- 2022年は英語等のデジタル教科書を使用するなど新たな学びを取り入れ、情報活用能力を育成

支援内容	
対象経費	委託料・工事費等
補助率	3分の2 (上限30万円)



- 市内中小企業や団体が抱える課題をデジタルの力で解決する「福島市デジタル人材バンク」を設置しています。

(2023年2月28日時点 市内個人:14名、市内法人:6社、市外個人:5名、市外法人:3社)



## デジタル人材の登録

- (1) 免許資格や自己PR・企業PR等を入力してエントリーします。
- (2) デジタル人材を「福島市デジタル推進パートナー」として登録します。

## デジタル人材と中小企業等のマッチング

- (3) 支援を受ける目的・業務概要・期間の情報とともに支援を申し込みます。
- (4) 中小企業・団体等のニーズに合ったデジタル人材を企業へ橋渡しします。

## デジタル人材と中小企業等の契約

- (5) デジタル人材と市内中小企業等でサポート契約を締結します。

# 簡単便利な行政サービス

## コンビニ交付サービス

マイナンバーカードがあれば、住民票などの各種証明書が、いつでも・どこでも・かんたんに受け取りが可能です。  
しかも、窓口より、100円安く取得できます。



### ◎いつでも

- ・ 毎日 午前6時30分～午後11時まで、利用可
- ・ 市役所が開いていない早朝、夜間、土日祝日も利用可

### ◎どこでも

- ・ 全国のコンビニ等（約56,000店舗）で取得可

### ◎かんたんに

- ・ 機械の画面表示に沿って操作し、どなたでもすぐに、取得可

# 簡単便利な行政サービス



マイナポータル

ぴったりサービス

これまで窓口に来庁し、紙などで提出していた申請手続きが、[マイナンバーカード](#)を使って、スマートフォン等から申請することが可能です。

◎ 179 手続きが申請可能 ※全国トップクラス (R5.2月末現在)

国民年金

介護保険

高齢者医療

犬の登録等

被災者支援

ごみ・環境

戸籍・住民票

国民健康保険

市道

公営住宅

文化・生涯学習

地域振興

税

公共施設の開放

情報公開

要望・意見・問合せ

市立図書館

保育施設利用申込

乳幼児

# 簡単便利な行政サービス

## 市LINE公式アカウント

登録者数：36,686名 (3/9現在)

市LINE公式アカウントを活用した各種サービスを提供。

### ◎情報配信サービス

新型コロナ情報などの市政情報を迅速に配信します。

### ◎市民通報システム

道路や公園等の不具合を写真付きで通報できます。

### ◎イベント予約システム

相談・講座・イベント等を簡単に予約できます。

#### 主な予約可能なイベント等

#### ・本日の発表会

申込者180名のうち、約半数が予約システムで申込み！

- ・学習センター主催の市民講座申込み
- ・農地に関する窓口相談予約

